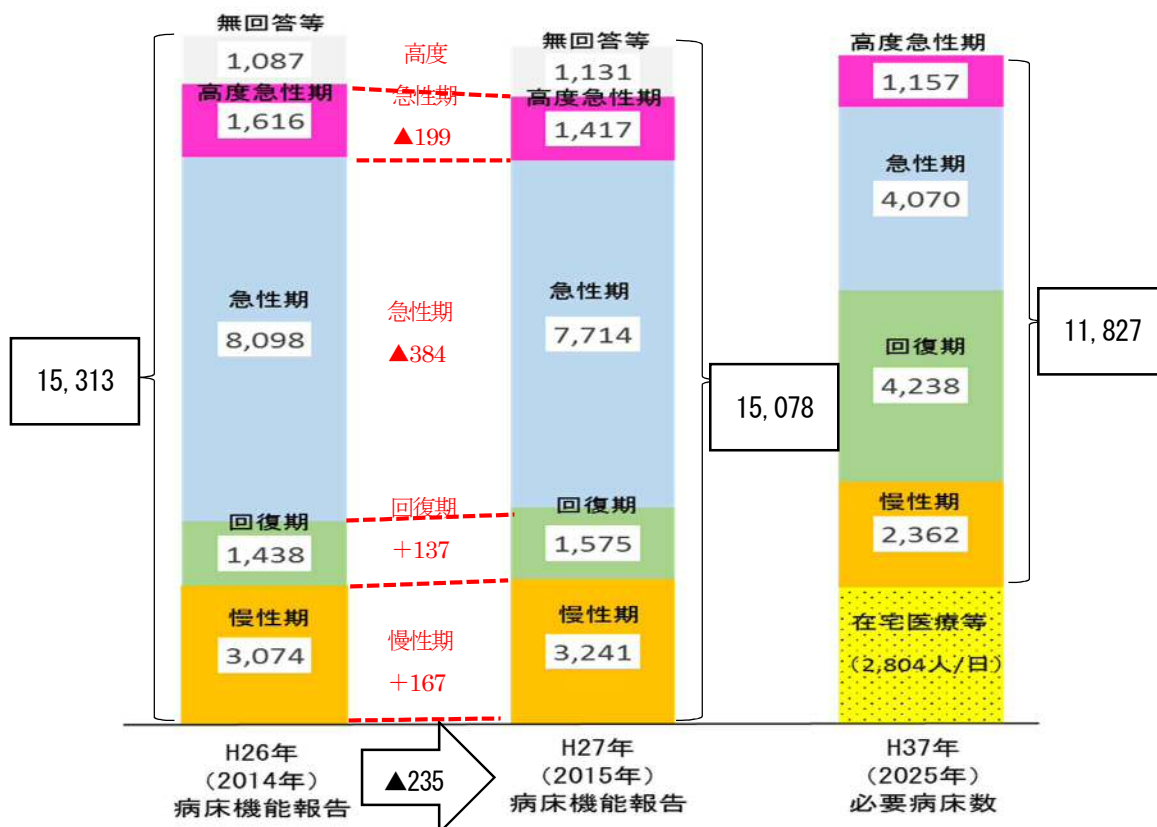


平成27年度 病床機能報告の結果（病床の機能分化・連携の状況）

1. 県全体

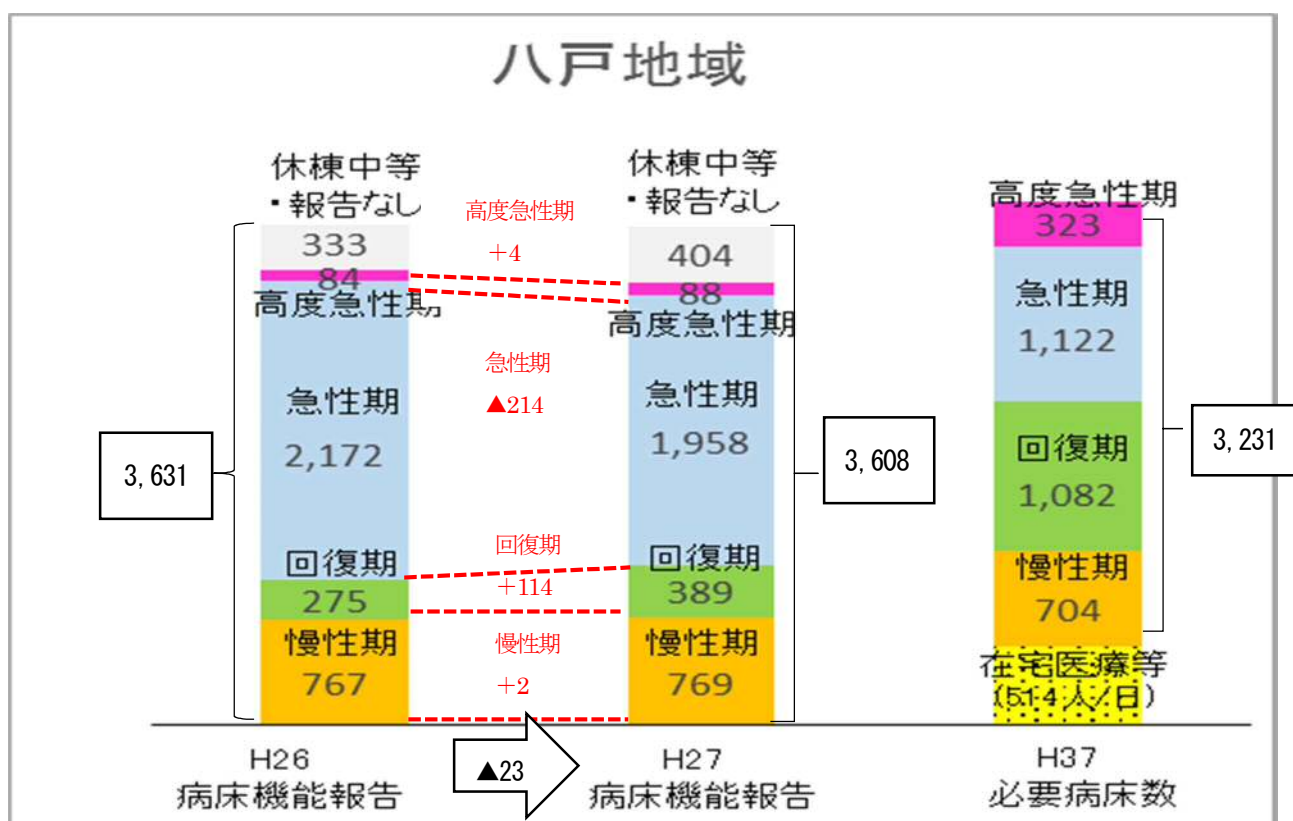
- ・ H26→H27：高度急性期▲199、急性期▲384、回復期+137、慢性期+167
- ・ 慢性期のうち在宅医療で対応可能とした2,804人/日分の在宅医療の整備が必要。
- ・ 慢性期から在宅医療等へ推計どおり移行が進めば、県全体で約3,200床の病床が不要となる見込み。



	H26 病床機能報告	H27 病床機能報告 ①	H37 必要病床数 ②	②－①
高度急性期	1,616	1,417	1,157	△ 260
急性期	8,098	7,714	4,070	△ 3,644
回復期	1,438	1,575	4,238	2,663
慢性期	3,074	3,241	2,362	△ 879
在宅医療等				
無回答等	1,087	1,131		△ 1,131
	15,313	15,078	11,827	△ 3,251

2. 構想区域別

- ・ H26→H27：高度急性期+4、急性期▲214、回復期+114、慢性期+2
- ・ 慢性期のうち在宅医療で対応可能とした514人/日分の在宅医療の整備が必要。
- ・ 慢性期から在宅医療等へ推計どおり移行が進めば、八戸地域で約380床の病床が不要となる見込み。



	H26 病床機能報告	H27 病床機能報告 ①	H37 必要病床数 ②	②－①
高度急性期	84	88	323	235
急性期	2,172	1,958	1,122	△ 836
回復期	275	389	1,082	693
慢性期	767	769	704	△ 65
在宅医療等				
休棟中等・報告なし	333	404		△ 404
	3,631	3,608	3,231	△ 377